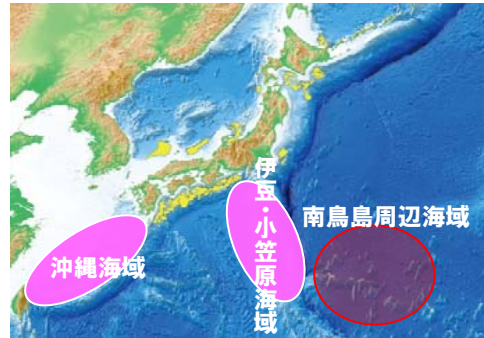


海洋鉱物資源広域探査システム開発

背景

- 我が国領海・排他的経済水域(EEZ)には、海洋資源(海底熱水鉱床、コバルトリッチクラスト等)が豊富に存在
- 商業的採鉱を実現するためには、資源の正確な分布や量の把握が必要

● 海底熱水鉱床 ■ コバルトリッチクラスト



我が国が持つ最先端科学技術

- 海底位置・地形の高精度計測技術
 - 海水の化学成分の高精度計測技術
 - 電磁気学的手法を用いた海底下構造の高精度計測技術
 - コバルトリッチクラストの厚さの高精度計測技術
- ※「鉱物資源探査技術高度化」で9技術を開発中

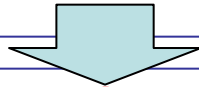


我が国が持つ最先端科学技術を活かし、効率的・効果的に広域資源調査を行う新たな手法の開発が必要

課題

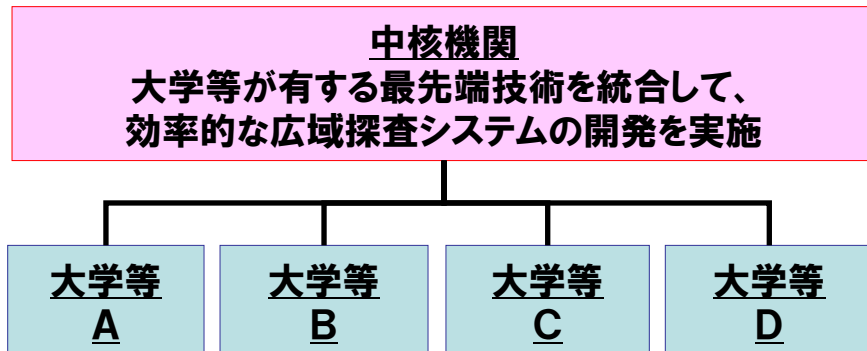
- 実海域での実証機会拡大による課題の抽出
- 取得データの解釈手法の高度化・高精度化
- 誰でも容易に利用できるようにシステムの汎用化
- 複数技術を組み合わせた効果的探査手法の確立

3年間でこれらの課題を克服し探査システムを実用化



具体的取組

大学等が有する最先端技術を統合して、効率的な広域探査システムの開発を実施する中核機関を公募で採択(1件)



- 各技術の開発状況に応じた実海域調査機会の確保
- 各技術の実海域調査計画の相互調整
- 複数技術を組み合わせた探査手法の検討
- 複数技術のデータ統合ソフトウェアの開発
- 民間企業への技術移転の検討

... ○統合に必要な各技術の高度化を実施